

当院で骨軟部肉腫に対し重粒子線治療を受けた皆様へ (臨床研究に関する情報)

量子科学技術研究開発機構では、医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力いただいております。このたび、骨軟部肉腫に対し重粒子線治療を受けた方データをもとに、マルチオンを用いたよりよい治療法（現行の炭素イオン以外のイオンも組み合わせて使用する治療法）が可能かどうかコンピュータ上で検討する研究を行います。

この研究は、当院にある治療計画データなどを使って行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い、同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、研究計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 骨軟部肉腫重粒子線治療においてマルチオンを使用した LET 最適化法に関する研究

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構QST病院

[研究期間] 研究期間（2021年9月17日～2026年3月31日）

[協力研究機関] なし

[研究責任者] 今井 礼子

[研究の目的] 骨軟部肉腫症例の治療計画 CT 画像と治療計画データを用いてシミュレーションによりマルチオンを用いた最適な治療方法を検討する。

[研究の方法]

●対象となる方々

2016年4月から2023年7月までに重粒子線治療が開始された骨軟部肉腫の患者さんのうち、試料・情報の研究利用に同意をいただいた方

●利用する情報：当院データベース（AMIDAS）および重粒子線治療計画の治療計画データと治療計画CT画像

2023年7月までのデータを使用しますので、新たな検査の必要はありません。

[個人情報の取り扱い] お名前や個人情報が出ること、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います）。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

今井 礼子 （いまい れいこ）電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

